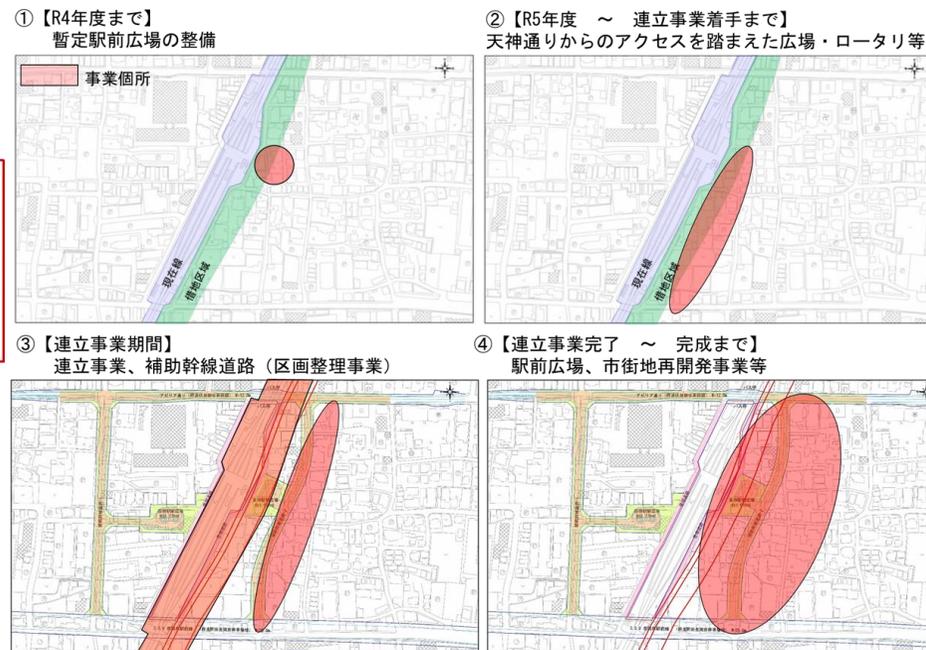


1. 阪急長岡天神駅東地区の市街地整備の進め方

連続立体交差事業と一体的に整備していく必要があるため、連続立体交差事業の進捗に応じ、暫定的な整備も取り入れた段階的な整備事業【ステップアップ事業】を展開していく

【ステップアップ事業のイメージ】



注) 今後の事業進捗により、駅前広場及び道路の位置・形状は変わる可能性があります。連続立体交差事業を仮線方式とした場合の検討です。

2. 意見交換会の趣旨と今年度の流れ

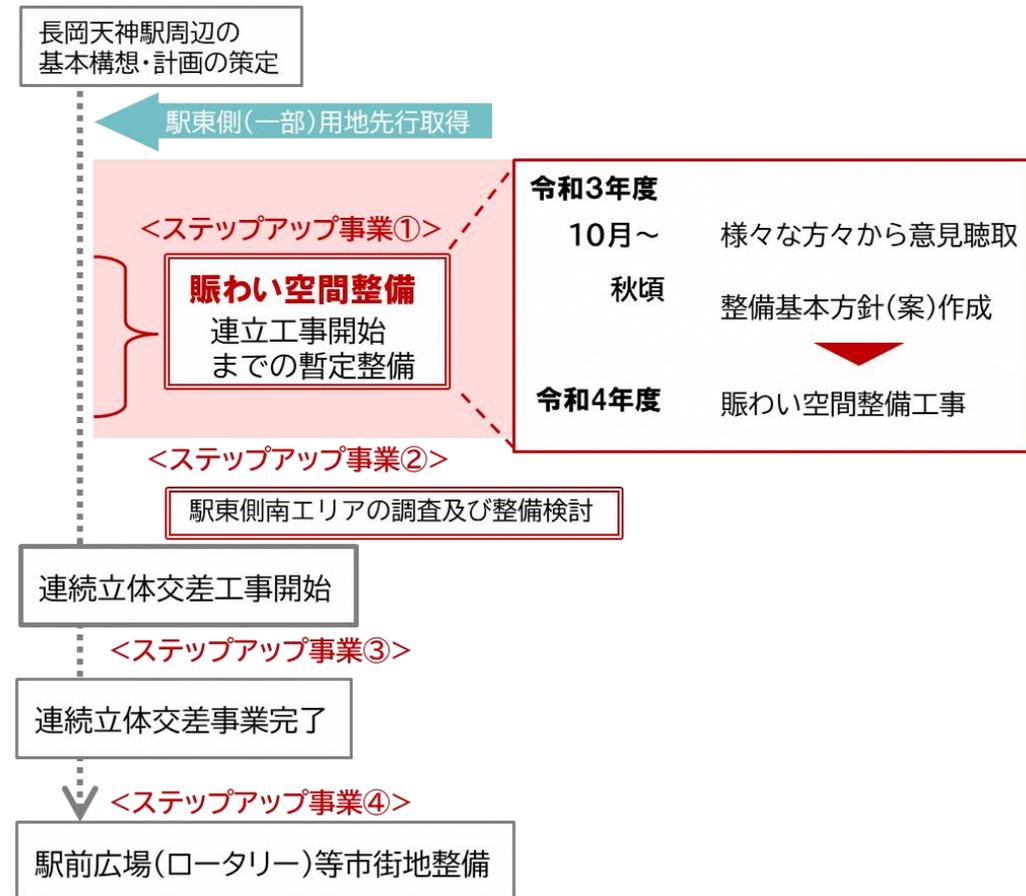
<意見交換会趣旨>

阪急長岡天神駅東口の先行取得用地の有効活用として、中心市街地の再生・活性化や、新たなまちなみの個性を引き出すため、多くの方々のご意見を伺いながら『賑わい空間』を形成する施設整備の設計を実施します。

<整備対象箇所>



<賑わい空間整備の位置づけ>



<今年度の流れ>

令和3年度	10月～	様々な方々から意見聴取
	秋頃	整備基本方針(案)作成
令和4年度		賑わい空間整備工事

3. 長岡天神駅周辺が抱える課題

【道路・交通】

- 1) 歩行者・自転車通行の安全性、快適性の確保
- 2) 踏切付近での交通渋滞の解消
- 3) 駅へのアクセス性向上と交通結節機能の強化
- 4) 鉄道による東西市街地の分断解消
- 5) 狭くて通りにくい生活道路の改善
- 6) アゼリア通りへの交通集中、著しい混雑の解消

【土地利用・賑わい】

- 1) 長岡京市の玄関口にふさわしい駅前空間の創出
- 2) 駅近の利便性を活かした土地利用
- 3) 長岡天満宮や周辺商店街への回遊を促す仕組みづくり

【住環境】

- 1) 安全・安心な住環境の形成
- 2) 快適で品格ある都市環境・景観形成



駅東出口のようす（駅出口北側）



駅東出口のようす（駅出口付近）

4. 対象地の整備の現状と方向性の検討



現状

- ・アゼリア通りからの右折による誤進入
- ・送迎車両の駐停車による混雑
- ・対面1車線の道路幅員

計画

車両乗り入れありの場合

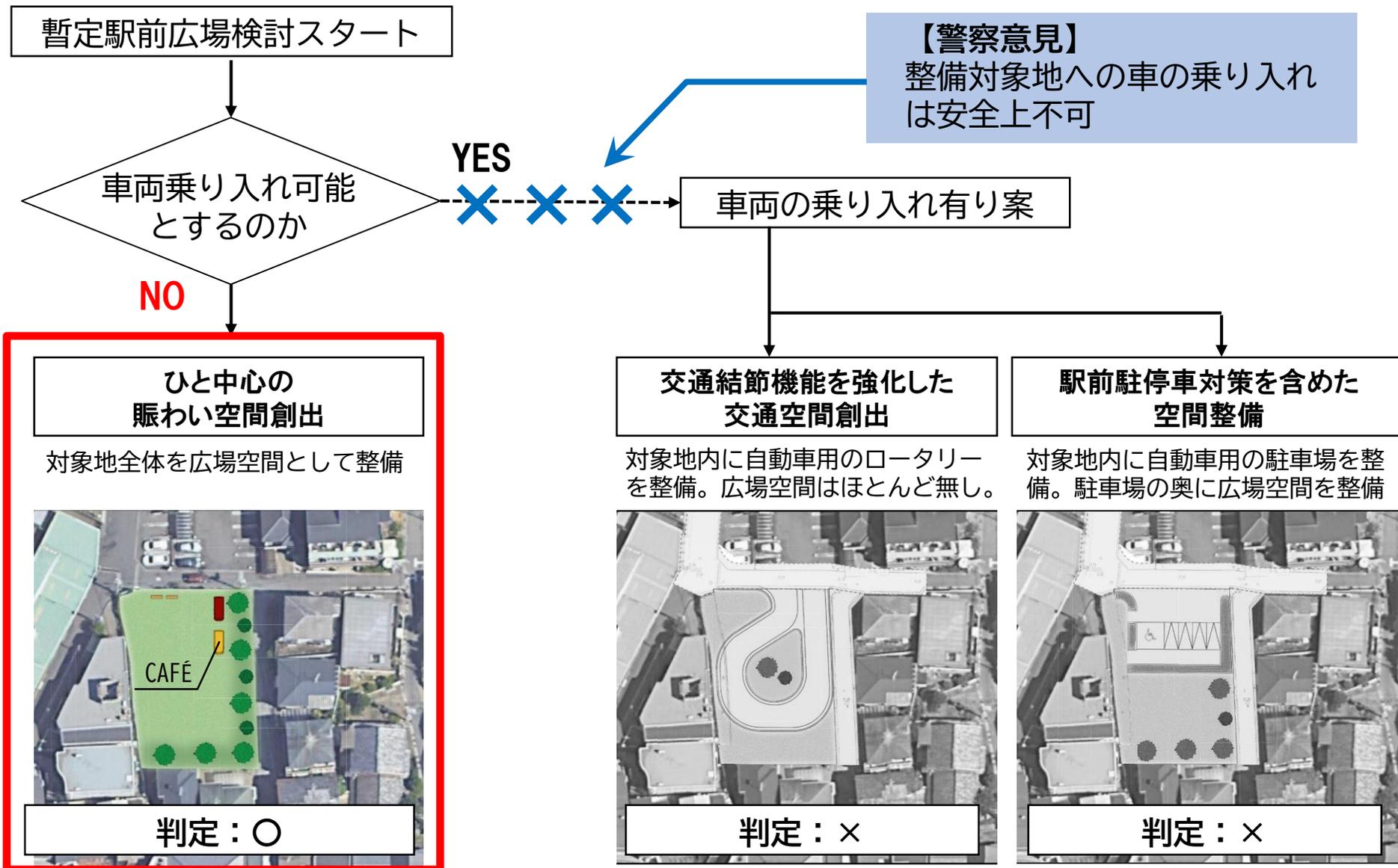
- ・交通量のさらなる増加
⇒混雑の深刻化・交通事故リスクの増加

警察意見

歩行者・自転車の安全性が低下
整備対象地への車の乗り入れは安全上不可

整備対象地は車両の乗り入れ無し
の方向で検討

4. 対象地の整備の方向性の検討



5. 最近の賑わい空間の整備事例

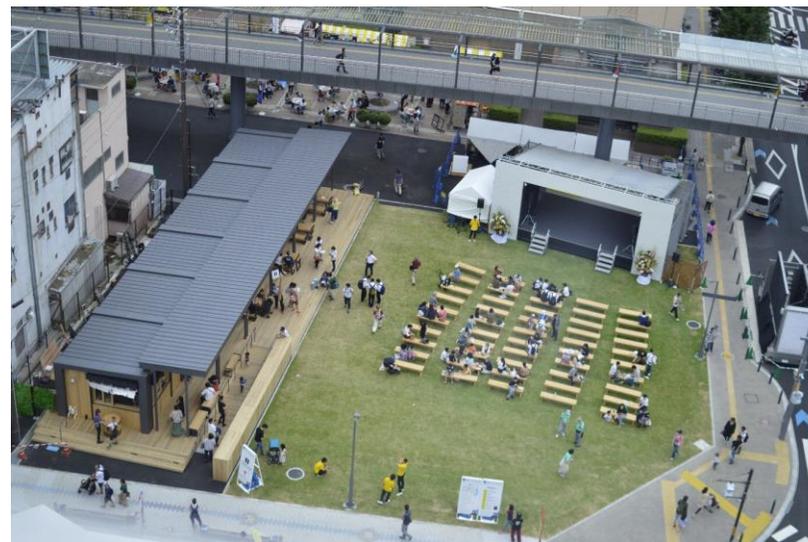
出典：全国まちなか広場研究会HP

出典：とよしばのフェイスブックページ

<天理駅前広場:コフフン>



<豊田市駅東口まちなか広場:とよしば>



5. 最近の賑わい空間の整備事例

出典：新栄テラスHP

出典：豊島区HP

<新栄テラス(福井市)>



<南池袋公園(豊島区)>



6. ターゲット、コンセプトの設定

<ひと中心の賑わい空間整備について>

ターゲット	基本的に周辺住民・市民・駅利用者
コンセプト	『駅前広場』の観点から ①待ち合わせができる空間 ②長岡京市や周辺の情報提供

<ひと中心の賑わい空間整備パターン>

パターン1	パターン2	パターン3
憩いとくつろぎの空間	賑わいと交流の空間 → 何か始めたい人	遊びと語らいの空間 → 子育て層
<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いてくつろげる空間づくり ○快適に心地よく座って過ごすことができる場 ○花やみどりなど心を落ち着ける要素 	<ul style="list-style-type: none"> ○人が集い、関わる空間・仕掛けづくり ○ちょっとした物販や飲食が可能な空間・期間限定の店舗やチャレンジショップ ○周辺に配慮したイベントが開催可能な空間 ○季節を感じる花壇・地元の学校、企業、店舗等によるアドプト制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供が遊ぶ空間と親が安心して見守る空間 ○会話・談笑が進む居場所づくり

7-1. ひと中心の賑わい空間整備パターン

パターン1
憩いとくつろぎの
空間

ベンチ



四阿



デッキ



ツリーサークル+ベンチ



7-1. ひと中心の賑わい空間整備パターン

パターン2 賑わいと交流の空間

キッチンカー



コンテナハウス



オープンカフェ



芝生広場(ヨガ)



出典：とよしばFacebook

7-1. ひと中心の賑わい空間整備パターン

**パターン3
遊びと語らいの空間**

